

## 2 各教科等の指導におけるICT活用

学習指導要領に基づき、資質・能力の三つの柱をバランスよく育成するため、児童や学校の実態に応じ、各教科等の特質や学習過程を踏まえて、教材・教具や学習ツールの一つとしてICTを積極的に活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげることが重要です。

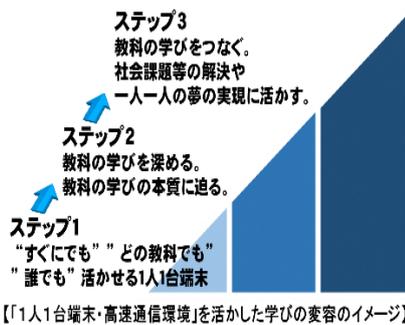
### ◆ GIGAスクール構想の実現

GIGAスクール構想により、1人1台端末環境の整備が急速に進んでおり、今後は、これらを活用しつつ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実していくことが求められています。

各学校においては、各教科等においてICT機器を積極的に活用し、これまでの実践と最適に組み合わせることにより、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めることが大切です。

### ◆ 「1人1台端末」を活かした学びの変容

学習指導要領に基づき、これまでの教育実践の蓄積とICTを掛け合わせることで、「一斉学習」「個別学習」「協働学習」の分野において、学習活動の一層の充実、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた視点からの授業改善など、学びの深化が図られることが期待されています。



国では、1人1台端末を活かした学びを段階的に実現するために、各教科等の指導におけるICTの効果的な活用についての基本的な考え方や活用例を右のサイトに示しています。



### ◆ 各教科等の指導における1人1台端末の活用例

#### 【国語】

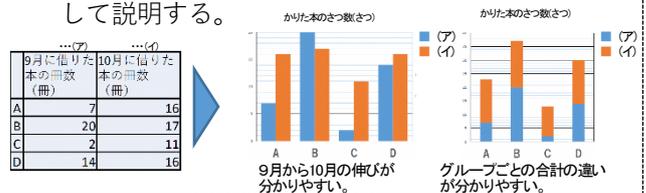
- 録画機能を活用して、自分や友だちのスピーチをよりよいものにする活動
  - ・タブレット端末等を使って、友だち同士で発表の練習の様子を撮影し合う。
  - ・撮影した動画を見ながら、互いの発表の仕方のよさや課題等を伝え合う。
  - ・動画を使って、教師が全体指導を行ったり、児童一人一人が振り返ったりする。

#### 【社会】

- 地域の調査・見学活動において、写真や動画で情報を集め、話し合って特色をまとめる活動
  - ・タブレット端末等を使って、インタビューの様子を録画・記録するなど、情報を収集する。
  - ・収集した画像や映像を基に、調べて分かったことを様々な表現方法でまとめる。
  - ・自分なりに考え分析した情報を友だちと共有したり、他の情報と関連付けて考えたりする。

#### 【算数】

- 表計算ソフトを活用して、データから見いだしたことを表現する活動
  - ・データから特徴や傾向を捉える。
  - ・友だちにデータの特徴が分かるようにグラフを示して説明する。



#### 【理科】

- 学習したことを、日常生活や自然の事物・現象と結び付ける活動
  - ・力の大きさと物の動く様子との関係について捉える。
  - ・学習した内容を基に日常生活における気付きを写真や動画で共有し考えを深める。



#### 【外国語活動・外国語】

- 遠隔システムを使ってALTや他の学校の児童とやり取りする活動
  - ・ALTや他の学校の児童と自分の住む地域や学校のことを紹介し合う。

